

エントリーNO.74

VRで見てもみよう バリアの世界


長野県上田千曲高等学校 VR4GIRLS

石井遥奈

佐々木麦

塩入未織

竹内水山音



テーマ設定の理由・目的

- 馴染みのある場所（学校周辺など）を調査することでバリアを身近に感じてもらう
- バリアフリーについて一般の人（小学生など）に知ってもらう
- 建物のバリアフリーだけでなく、心のバリアフリーについて考えてもらう

あえてVRにした理由

- 通常のビデオだと見るだけになってしまうがVRにすることで実際の目線、揺れを体感することができる。
- 自分で問題点を(バリア)探す意欲が高まる。
- VRを通し体験できるため、映像が記憶に残る。
- 人によってVRで見る場所(注目するところ)が違うので**ディスカッション**しやすい。→危険を共有できる。

バリアフリー調査 & VR動画撮影

- 日時

2020年8月18日(火) 2020年9月2日(水)

- 調査メンバー

上田千曲高等学校8名

長野大学社会福祉学部の学生さん

情報バリアフリーラボ伊藤英一さん

長野県社会福祉協議会

盲導犬ユーザーさん

NPO法人 障害者支援員(車いすユーザーさん)





次に提示するのはVRでの
バリア発見の例です



コンビニエンスストア①

どこにバリアがあるでしょうか。



飲料コーナーで見つけたバリア

- 一番上にあるものは取れない
- 飲料コーナー開き戸が開けづらい
 - ・扉が重い
 - ・開けるのに力が必要
 - ・フットサポートに当たる

コンビニエンスストア②

どこにバリアがあるでしょうか。



冷凍コーナーで見つけたバリア

- 手前に置いてあるものが見えない
- 遠くに置いてあるものが取れない
- ワゴンの枠が高い

横断歩道の前

どこにバリアがあるでしょうか。



↑VR画像

道で見つけたバリア

- 傾斜 → 車いすで止まっているのが困難
- 段差 → キャスタを上げる介助が必要
- 側溝 → キャスタがはまり込む
- 点字ブロック → 走行が不安定

バランスが取りづらい

雨が降ると滑る

学校のトイレ

どこにバリアがあるでしょうか。



公民館のトイレ

バリアフリーが整ってるところはどこでしょうか。



二つのトイレの比較

学校のトイレ

- 押し戸 → 開けづらい
- 出入り口の段差がある
- 手動スイッチ
- ゴミ箱が車いすの動線上にある

公民館のトイレ

- 引き戸 → ストッパーがついているため入りやすい
- 出入り口の段差がない
- 人感センサーの電気
- ゴミ箱が車いすの邪魔にならない位置にある

自転車の追い越し

どのような危険があるか考えてみましょう。



追い越しの危険

- 後ろを振り返れないため後方から自転車が来ると怖い
- 自転車が前に来ると車いすは急に止まることが難しい
 - 減速して通ることを知らせる
- ただベルを鳴らされると邪魔者扱いされている気持ちになる
 - ベルを鳴らしたあと感謝の言葉が必要

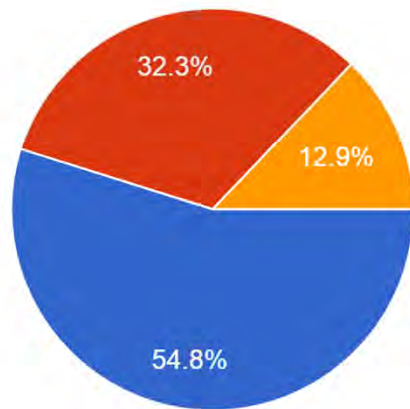
車いすの人がいたら何ができるでしょうか？

- 店内で取りにくい場所にある品物を取る
- 車いすが動けなくなっていたら声をかけてからサポートする
 - **車いすの基本的な操作を知っておく**
- 車いすの方の安全に配慮する
- 車いすの方に近づく危険を知らせる

アンケート①

～VRを体験した感想～

VR動画は車いすの方の目線を理解しやすいものでしたか？



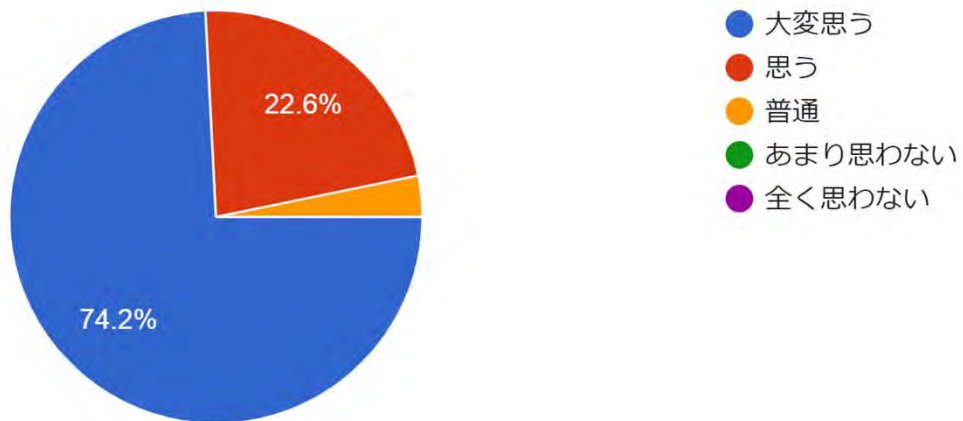
- 大変理解しやすかった
- 理解しやすかった
- 普通
- 理解しにくかった
- 全く理解できない

- 自分が車いすに乗った感覚になれて揺れなどもしっかり感じられた。
- VRを使うことで同じ目線で色々な方向をみれるので発見することも多いのかなと感じた。
- 車椅子で移動している時視界がガタガタしていて気持ち悪くなった。

アンケート②

～VRを使用する学習について～

VR動画を使ったバリアフリー学習は有効だと思いますか？



- 小さい子の目線や高齢者の方の目線を再現しどんな危険が日常にあるのか調べることができると思います。
- 車いすの方の目線以外に、障がい(視覚・聴覚など)を持っている方が、普段どのように見えているかを体験する。
- 介護現場や実習などでVRを使用すると相手のことをより考えて学べると思った。

今後、VRを通して行う活動内容

- 小学生から高校生までのさまざまな年代の人に体験してもらう

→①バリアを探す

②ディスカッションで見つけたバリアを共有する

③**解決策を考える**

- 車いすの基本的な操作方法を知ってもらう**

例) 段差等を乗り越えるためにキャストを上げる方法

状況に応じたフットサポートの使用法